アイスプラネット（1）

椎名　誠

僕のおじさんは「ぐうちゃん」という。津田由起夫三十八歳。いそうろう。

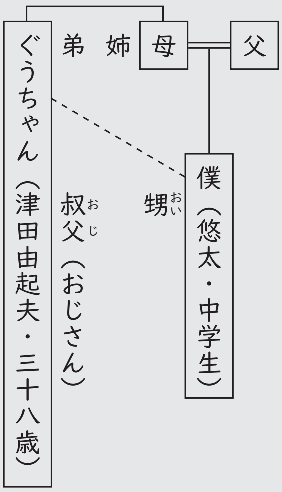
僕の母親の弟だ。いつも母に怒られている。学生の頃に外国のいろんな所を旅していたらしく、気づいたときには僕の家に住み着いていた。そして、長いこと「ぐうたら」しているから、いつのまにか「ぐうちゃん」というあだ名になってしまった。でも、ぐうちゃんは変わった人で、そう言われるとなんだかうれしそうだ。それを見て僕の母はまた怒る。怒るけど「これ、ぐうちゃんの好物。」なんて言いながら、ご飯の支度をしているから母もちょっと変わっている。

（中略）

ぐうちゃんは、家にいるときはたいてい本を読んでいるか、唯一のタカラモノであるカメラの掃除、点検などをしている。全く「ぐうたら」ばかりでもなくて、たまに一週間ぐらい留守にするときもある。ぐうちゃんにきくと、そんなときは、全国を回って測量の仕事をしているという。一度、家に持って帰った測量の道具を見せてもらったけれど、すごく精密な望遠鏡という感じだった。レンズの中をのぞくと中にいっぱい目盛りが付いていて、ダイヤルでピントを合わせる。いかにもプロの人の道具みたいで格好いい。かといって、ぐうちゃんは、測量の専門家でもないらしい。僕の母は、ぐうちゃんのそういう落ち着かない仕事のしかたが気に入らないようだ。「ちゃんと就職して早く独立しなさい。そうして『いそうろう』から卒業しなさい。」といつも怒る。

登場人物の設定

物語や小説を読むときは、登場人物の設定を整理しながら読みすすめるとよい。登場人物が多い場合は、関係性を図にまとめると理解しやすい。



・僕…………中学生。東京の西の郊外の家に住んでいる。ぐうちゃんが大好き。
・ぐうちゃん…三十八歳。いそうろう。たまに測量の仕事をしている。
・母…………ぐうちゃんとは姉弟の関係。ぐうちゃんの落ち着かない仕事のしかたが気に入らず、いつも怒る。
・父…………単身赴任で仙台にいて、週末に帰ってくる。ぐうちゃんのいそうろうを歓迎している。

確認テスト　本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) 「僕のおじさん」が「ぐうちゃん」と呼ばれている理由を、本文中から十五字以上二十字以内で書きぬきなさい。ただし記号も字数に含む。

(2) 「いそうろう」の意味を選びなさい。

ア　ある家に古くから住んでいる人。
イ　ときどき家を留守にして働きにでる人。
ウ　他人の家に住んで養ってもらっている人。
エ　転勤のため、家族と離れて一人で暮らす人。

〔　　〕

(3) 「ぐうちゃん」の説明として正しいものを選びなさい。

ア　「僕」の父の弟で、「僕」のおじさんに当たる。
イ　学生の頃に外国をいろいろと旅していたらしい。
ウ　測量の専門家で、いつも測量で全国を回っている。

〔　　〕

(4) 「僕」の母は、ぐうちゃんの何が気に入らず、いつも怒っているのか。本文中から十二字で書きぬきなさい。

(5) 「僕」の母が、いつも怒りながらも、ぐうちゃんに対して愛情をもっていることがわかる一文を本文中から探し、その最初の三字を答えなさい。